

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者)中央地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 中央地区福祉互助会事業				
実施主体	中央地区町会連合会 中央地区福祉互助会			
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
実施場所	中央地区一円			
事業概要	<p>中央地区の独自事業として行う、地域住民による相互の支え合いの仕組み「中央地区福祉互助会」、生活支援を行う「かかわり隊事業」、高齢者への買い物支援を継続的に運用するもの</p> <p>【生活支援の内容】 ・買い物付き添い ・草取り ・庭木の剪定 ・ゴミ出しなど</p> <p>【買い物支援の内容】 ・ようこく朝市、城南あさ市の開催</p>			
地域づくりの成果・効果	<p>困っている人、支援を必要としている人と、何かしたい、何とかしたいと思っている人をつなげる仕組みの運営を通して、公的制度では対応できないサービスを提供し、中央地区の町会福祉を推進した。また互助会で情報を一元的に管理することで、町会を超えた助け合いの制度運営を行い、中央地区をあげて見守り安心のネットワークづくり、地域包括ケアシステムの生活支援機能を担うことができた。(令和5年度実績121件)</p> <p>高齢者への買い物支援としての朝市活動では、気軽に話ができるお茶飲み処を設置し、住民に交流の場を提供した。また4年度に続きポイント制度を実施したことに加え、今年度は福祉ひろばの健康ポイント事業の景品引き換えを実施した結果、これまでの朝市利用者とは違う人たちが来場するようになり、新たな住民交流が生まれた。</p>			
課題	かかわり隊利用者が固定化しているため、さらなる制度周知が必要。従来のチラシ配布に加え、新聞やSNS等より広く発信する手段を検討する必要がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	215,734円	150,000円	0円	65,734円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 中央地区 災害時要援護者優先避難所備蓄品整備事業				
実施主体	中央地区町会連合会 中央地区防災部 大手公民館災害時要援護者避難所運営委員会			
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
実施場所	大手公民館 他			
事業概要	大規模災害時、災害時要援護者優先避難所の設置の際に必要な備蓄品を購入し、避難者に対して提供できる体制を整えるもの。 また、避難所運営委員会での学習事業を通して、地区内での防災分野の人材育成を行うとともに、避難所運営の課題抽出を図る。			
地域づくりの成果・効果	避難所運営委員会で備蓄品の必要性を検討し、購入物品を決定。シミュレーションシートを作成し、効率的に買い替えができるようなシステムを構築した。			
課題	昨年度の反省から、今年度防災備品の棚卸及び配置見直しを実施。その結果、収納場所が不足しており災害時にすぐに取り出せない状態となっていることが判明。防災倉庫の設置が急務である。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	100,000円	100,000円	0円	0円

③ 事業名： 中央地区 夏祭り				
実施主体	中央地区夏祭り実行委員会 中央地区町会連合会			
実施日(期間)	令和5年8月8日			
実施場所	榊形跡ひろば 他			
事業概要	コロナにより途絶えてしまった地域の伝統行事「青山様・ぼんぼん」を復活し、住民の交流を促進するために縁日を開催した。企画は松大・信大の学生中心に実行委員会が行い、当日の運営は地域住民有志が学生たちと協働で行った。			
地域づくりの成果・効果	当日は実行委員会含め約70名の学生及び住民有志が集まり、協力して祭り運営を行うことで、世代間交流となった。また松本城の薪能と重なったこともあり、多くの観光客や市民が会場を訪れ、住民や学生、子どもたちと交流する場面が見られた。中学生の屋台は来場者に好評で、参加した中学生も「またやりたい」とのコメントがあった。住民アンケートでは、青山様・ぼんぼんに参加した子どもの親たちから、次年度以降の継続を希望する声が多数聞かれるとともに、お祭り運営を手伝いたいという意見も見られ、地域活動への関心を持つきっかけとなった。			
課題	実行委員会の構成員が学生や育成会など若者中心であることから、打ち合わせのスケジュール調整が難航。オンライン会議等の活用を検討する。 また育成会の祭りへの関わり方がはっきりしていないため、次年度は親たちに負担感を持たせることがないよう一定の役割を割り振ることが必要という意見があった。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	334,404円	200,000円	0円	134,404円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	650,138円	450,000円	0円	200,138円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:中央地区災害対策基金 資金積立事業						
積立目的	地震や洪水、大雪などの大規模災害時における必要物資の購入や除雪費用を速やかに調達するための資金を確保するとともに、災害時の住民の安心を確保することを目的として行うもの。					
積立期間	令和元年度から 令和5年度まで (本年度 5年目)					
積立ての目標金額	500,000円					
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計		
	前年度までの積立経過	1年目	100,000円	100,000円	0円	
		2年目	100,000円	100,000円	0円	
		3年目	100,000円	100,000円	0円	
		4年目	100,000円	100,000円	0円	
		5年目	100,000円	100,000円	0円	
	本年度の積立実績	D	100,000円	E 100,000円	F 0円	
合計額		500,000円	500,000円			
本年度積立金を充当して実施した事業の概要						
実施主体	中央地区町会連合会					
実施日(期間)	令和5年4月1日～令和6年3月31日					
実施場所	中央地区一円					
事業概要	地震や洪水、大雪などの大規模災害に備えて、必要となる資金を基金として積み立てを行い、緊急時に必要な物資(発電機、燃料、トイレ等)の調達や人材の確保、大雪災害時における業者への除雪委託費用(積雪30cm以上)などに充てたものです。					
地域づくりの成果・効果	大規模災害時を想定して、物資だけではなく資金を積み立てて確保しておくことで、地区としての備えや住民の安心の確保に繋がられます。					
決算額	E+G	財源内訳				
	100,000円	E	G	0円		
<table border="1"> <tr> <td>積立継続(令和5年度まで)</td> <td>○ 廃止</td> </tr> </table>					積立継続(令和5年度まで)	○ 廃止
積立継続(令和5年度まで)	○ 廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法 防災倉庫設置費用の一部とする						

E : 充当した積立金の額

G : その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額=I×2/10

### 3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し